

平成 27 年 2 月 12 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」の「毎月分配型」

2015 年 2 月 10 日決算の分配金について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「毎月分配型」の各コースにおける2015年2月10日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

記

<毎月分配型>

■ 第 62 期分配金 (1 万口当たり、税引前)

円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
50 円	80 円	120 円	95 円

■ 第 42 期分配金 (1 万口当たり、税引前)

カナダドルコース	メキシコペソコース	トルコリラコース
60 円	80 円	120 円

■ 第 11 期分配金 (1 万口当たり、税引前)

米ドルコース
50 円

■ 第 42 期分配金 (1 万口当たり、税引前)

金コース	
分配額	50 円
付加分配額	0 円
合計額	50 円

- ・ 基準価額の水準を勘案し、金コースの付加分配を見送ることいたしました。
詳細につきましては、2 ページ目の「2015 年 2 月決算時における付加分配について」をご覧ください。

■ 2015年2月決算時における付加分配について

金コースについては、毎年2月、5月、8月および11月の決算時において、毎月の分配額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。当期につきましては基準価額水準等を勘案し、付加分配を見送ることといたしました。

引き続きご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

- ・ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- ・ 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

■ 前月の運用経過

エマージング債券市場(米ドルベース、以下同じ)は反発に転じ、米ドル建てエマージング債券市場(参考指数:JP モルガンEMBI グローバル・ダイバーシファイド、以下「米ドル建て債」)、現地通貨建てエマージング債券市場(参考指数:JP モルガンGBI-EM グローバル・ダイバーシファイド、以下「現地通貨建て債」)ともに小幅高となりました。ただし、米ドル建て債は、米国国債の大幅上昇(利回り低下)に連れ高となった面が大きく、米ドル建て債全体の米国国債に対するスプレッド(利回り格差)は引き続き拡大しました。また、ロシアやベネズエラなど原油輸出国の米ドル建て債は続落しました。現地通貨建て債は、投資家の利回り追求姿勢の強まりを受け、現地通貨ベースで反発しましたが、新興国通貨が総じて続落したことから、米ドルベースの上昇幅は限定的なものとなりました。特に、原油安への懸念などから大幅続落となったロシアルーブルのほか、ECB(欧州中央銀行)による量的金融緩和策導入に伴うユーロ安の影響を強く受けたハンガリーフォリントやポーランドズロチなど中東欧通貨の下落が目立ちました。また、スイス中銀が当月半ばにユーロに対する同国通貨スイスフランの為替レート上限を突然撤廃したことも市場の動揺につながりました。低金利を理由にスイスフラン建ての銀行ローンが普及していたハンガリーやポーランドでは、スイスフランの急騰を受けた返済の滞りや焦げ付きなどが警戒されました。

ポートフォリオは米ドルベースでプラスの収益率となりました。ギリシャのユーロ建て国債に加え、ベネズエラやガーナの米ドル建て国債の組み入れなどがマイナスに作用したものの、スロベニアやメキシコ、インドネシア、トルコの米ドル建て国債の組み入れなどがプラス要因となりました。

当月の主な投資行動では、メキシコの米ドル建て国債の入れ替えを実施したほか、スロベニアやインドネシアの米ドル建て国債の一部売却などを行いました。一方で、ドミニカ共和国の米ドル建て国債の追加購入に加え、ブラジルの米ドル建て国債の新規購入などを実施しました。

月末時点でのポートフォリオは、国別では、メキシコやインドネシア、ドミニカ共和国、トルコ、スロベニアなどの比率が上位となりました。米ドル以外の通貨では、ユーロやメキシコペソ、インドネシアルピア、コロンビアペソなどの比率が比較的高めとなっております。

資源価格の下落により、経済見通しが悪化した新興国もありますが、コスト低下の多大な恩恵が期待される国もあります。世界的に抑制されたインフレや低金利、先進国の緩和的な金融政策などを背景に、エマージング債券は相対的に魅力的な利回り水準を提供し続けると見込まれます。

ポートフォリオでは、ガーナやケニアなどのアフリカ諸国、また、中南米ではメキシコなどの米ドル建て国債を愛好しています。アフリカでは人口動態や都市化、政府当局の質の改善などが成長を促進し、長期的に魅力的なリターンと分散の機会を提供すると見込んでおり、メキシコではこれまでの構造改革の効果と米国の景気拡大の恩恵に期待しています。

一方で、米ドル建て、現地通貨建ての双方で欧州の債券を削減しているほか、利回り水準は魅力的ながら、通貨安が引き続き懸念される現地通貨建て債は抑制的な組み入れにとどめており、社債についても強固な財務基盤を有する企業の社債を厳選しています。

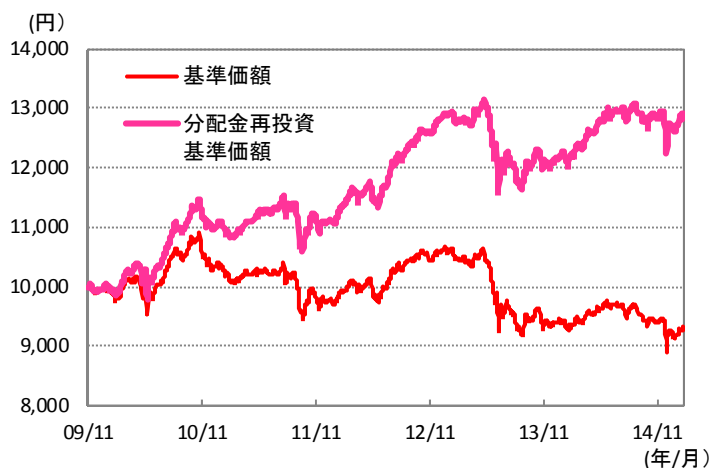
当ファンドの各コースが投資対象としている「エマージング・マーケット・デット・ファンド」(ケイマン籍外国投資信託)は2015年1月末現在でエマージング債券の組入数は156銘柄、債券の組入比率は98.1%となっております。

出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

■ **基準価額の推移** (設定日~2015年2月10日)

- 「分配金再投資基準価額」は税引前分配金を全額再投資したものとして計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後です。
- 円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコースの設定日は2009年11月17日、カナダドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース、金コースの設定日は2011年8月10日、米ドルコースの設定日は2014年2月7日です。

○ 円コース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

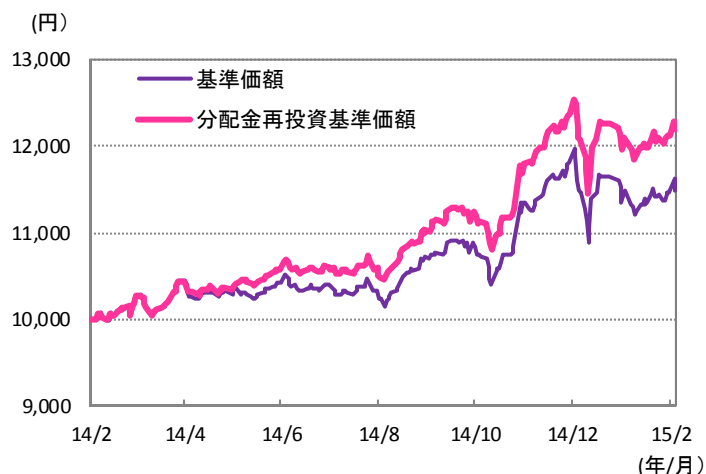
	決算日	分配金
第58期	2014/10/10	50円
第59期	2014/11/10	50円
第60期	2014/12/10	50円
第61期	2015/1/13	50円
第62期	2015/2/10	50円
設定来		3,300円

1万口当たり、税引前

2015/2/10

基準価額	9,250円
純資産総額	51.6億円

○ 米ドルコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

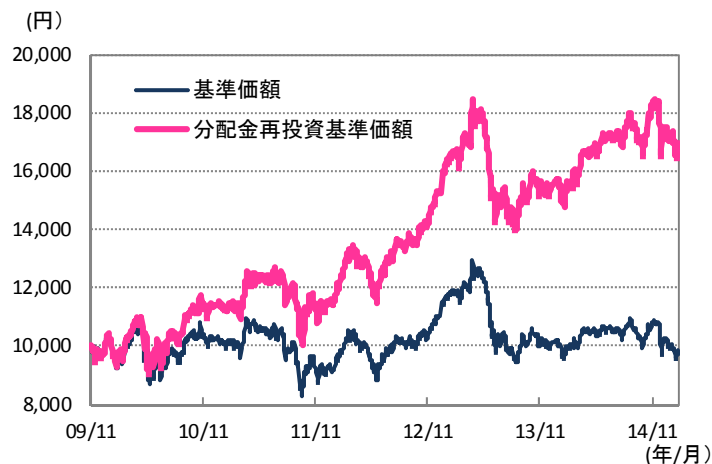
	決算日	分配金
第7期	2014/10/10	50円
第8期	2014/11/10	100円
第9期	2014/12/10	50円
第10期	2015/1/13	50円
第11期	2015/2/10	50円
設定来		650円

1万口当たり、税引前

2015/2/10

基準価額	11,488円
純資産総額	10.4億円

○ 豪ドルコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

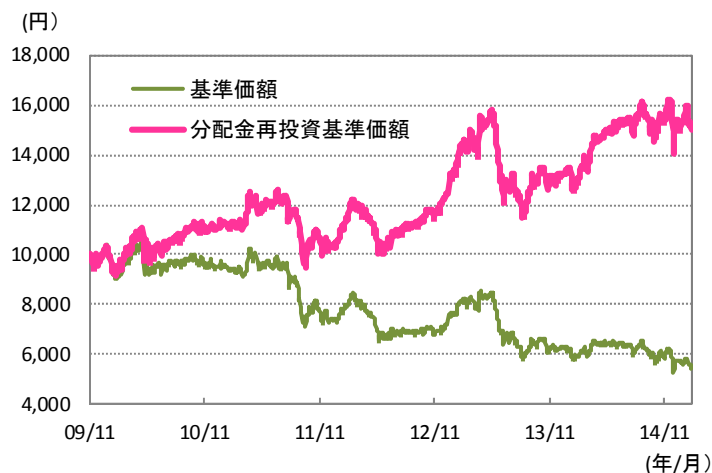
	決算日	分配金
第58期	2014/10/10	80 円
第59期	2014/11/10	160 円
第60期	2014/12/10	80 円
第61期	2015/1/13	80 円
第62期	2015/2/10	80 円
設定来		5,660 円

1万口当たり、税引前

2015/2/10

基準価額	9,721 円
純資産総額	57.4 億円

○ ブラジルリアルコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

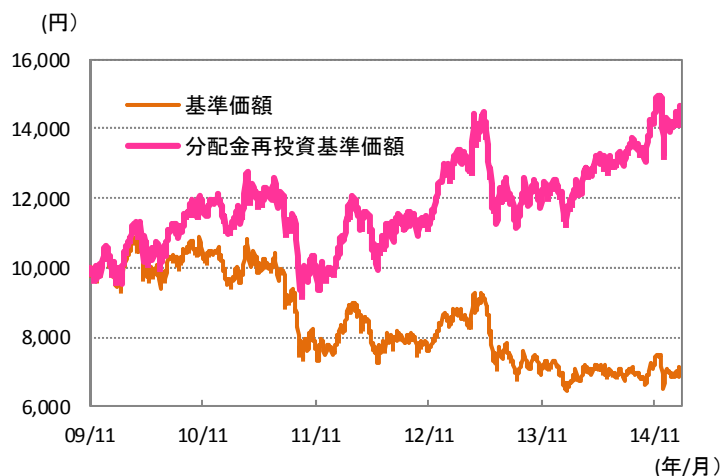
	決算日	分配金
第58期	2014/10/10	120 円
第59期	2014/11/10	120 円
第60期	2014/12/10	120 円
第61期	2015/1/13	120 円
第62期	2015/2/10	120 円
設定来		7,740 円

1万口当たり、税引前

2015/2/10

基準価額	5,398 円
純資産総額	579.7 億円

○ 南アフリカランドコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

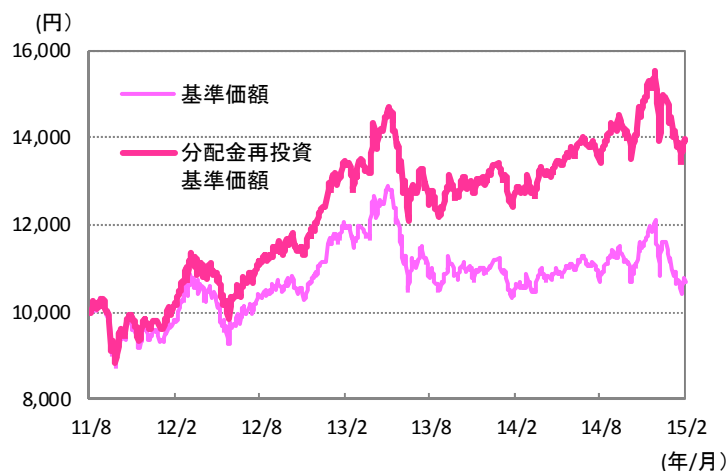
	決算日	分配金
第58期	2014/10/10	95 円
第59期	2014/11/10	95 円
第60期	2014/12/10	95 円
第61期	2015/1/13	95 円
第62期	2015/2/10	95 円
設定来		6,115 円

1万口当たり、税引前

2015/2/10

基準価額	6,890 円
純資産総額	2.6 億円

○ カナダドルコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

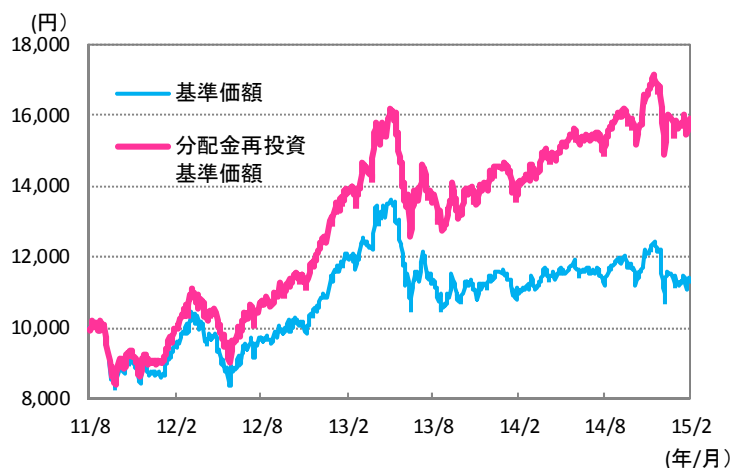
	決算日	分配金
第38期	2014/10/10	60 円
第39期	2014/11/10	120 円
第40期	2014/12/10	60 円
第41期	2015/1/13	60 円
第42期	2015/2/10	60 円
設定来		2,845 円

1万口当たり、税引前

2015/2/10

基準価額	10,688 円
純資産総額	5.0 億円

○ メキシコペソコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第38期	2014/10/10	80 円
第39期	2014/11/10	160 円
第40期	2014/12/10	80 円
第41期	2015/1/13	80 円
第42期	2015/2/10	80 円
設定来		3,680 円

1万口当たり、税引前

2015/2/10

基準価額	11,285 円
純資産総額	144.5 億円

○ トルコリラコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

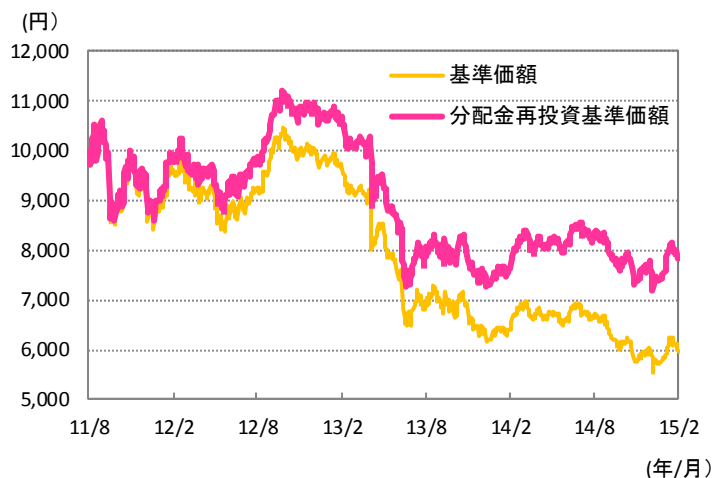
	決算日	分配金
第38期	2014/10/10	120 円
第39期	2014/11/10	240 円
第40期	2014/12/10	120 円
第41期	2015/1/13	120 円
第42期	2015/2/10	120 円
設定来		5,400 円

1万口当たり、税引前

2015/2/10

基準価額	9,343 円
純資産総額	81.5 億円

○ 金コース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第38期	2014/10/10	50 円
第39期	2014/11/10	50 円
第40期	2014/12/10	50 円
第41期	2015/1/13	50 円
第42期	2015/2/10	50 円
設定来		2,100 円

1万口当たり、税引前

2015/2/10

基準価額	5,976 円
純資産総額	19.3 億円

■ 分配方針(毎月分配型)

毎月 10 日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。
- ② 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配^(注)を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。また、5 月および 11 月の決算時(金コースについては、2 月、5 月、8 月および 11 月の決算時)には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。
* ただし必ず分配を行うものではありません。
- ③ 収益分配に充てず信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

(注)「原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

販売会社の名称等

販売会社	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品 取引業者 関東財務局長(金商) 第 142 号	○	○	○	○

加入協会に○印を記載しています。

以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による利益および損失は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

◎ファンドの基準価額の変動要因となる主たるリスクについて

<各ファンド(マネープールファンドを除く)>

「債券価格変動リスク」「カントリーリスク」「為替変動リスク」「金価格変動リスク」

<マネープールファンド> 「債券価格変動リスク」

基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

◎その他の留意点

○ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

○為替取引に関する留意点

ファンドにおける為替取引は、主に為替予約取引を活用しますが、通貨取引に対する規制等の理由から、当該通貨での為替予約取引を行うことが難しい一部の新興国通貨については、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用します。NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDF想定金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少や為替取引によるコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与える場合があります。

*NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引とは

- ・投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行う取引をいいます。
- ・新興国通貨等への取引ニーズの高まりと共に、NDF取引が活用されるようになりました。

○有価証券への投資や為替取引などファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手先の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。

○ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

○分配金に関する留意点

- ・分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・投資者の購入価額(個別元本の状況)によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかつた場合も同様です。
- ・分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払後の純資産は分配金相当額が減少し、基準価額が値下がりする要因となります。

ファンドの費用

■投資者が直接的に負担する費用

◇ 購入時に負担いただく費用

購入時手数料	購入価額に対して 上限 3.24%(税抜 3.0%) (マネープールファンドの購入はスイッチングによる場合のみとします。)
--------	---

◇ スwitchング時に負担いただく費用

スイッチング時手数料	購入価額に対して 上限 1.62%(税抜 1.5%) (マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)
------------	--

◇ 換金(スイッチングのための換金を含む)時に負担いただく費用

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)
換金手数料	ありません。

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 ●各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.9504%(税抜 0.88%) 実質的にご負担いただく信託報酬率 : 年 1.7004%(税抜 1.63%)程度 (信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値) ●マネープールファンド : 年 0.594%(税抜 0.55%)以内
その他の 費用・手数料	【監査報酬】毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 ●各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.00864%(税抜 0.008%) ●マネープールファンド : 年 0.0054%(税抜 0.005%) 【その他】証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。